

# JARIの交通安全教育の考え方

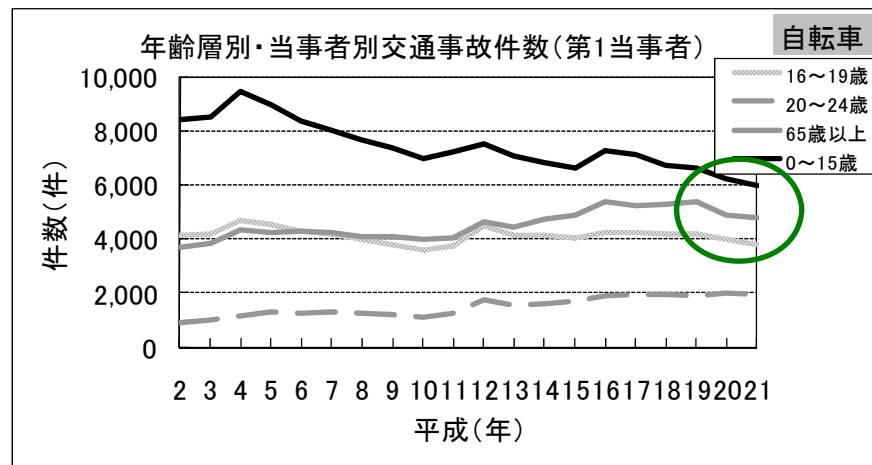
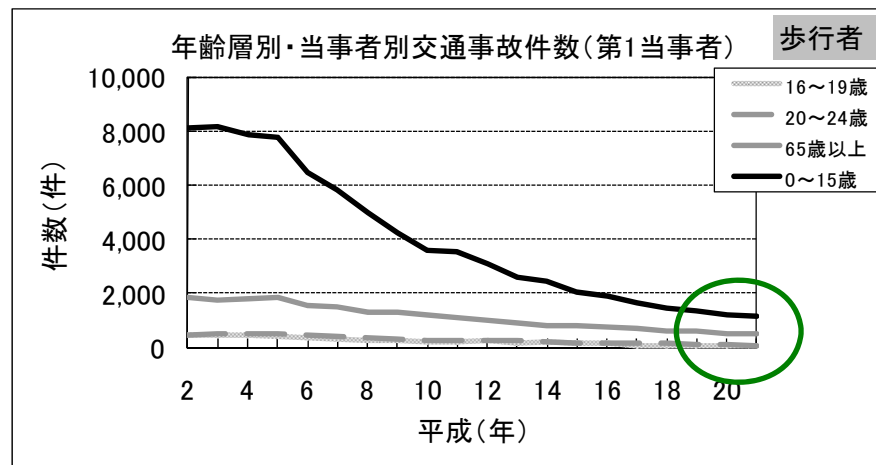
2011.09.01

(財)日本自動車研究所

# 1.交通安全教育の重要性

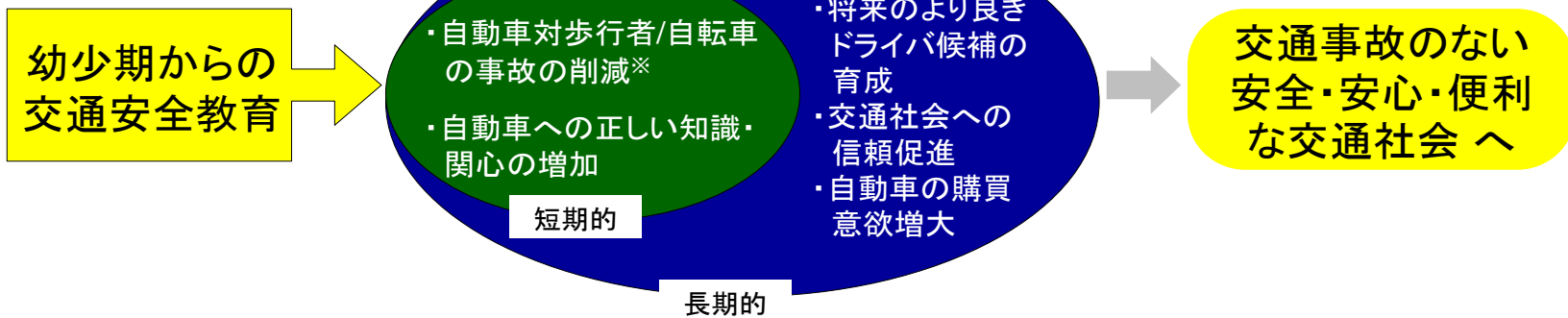
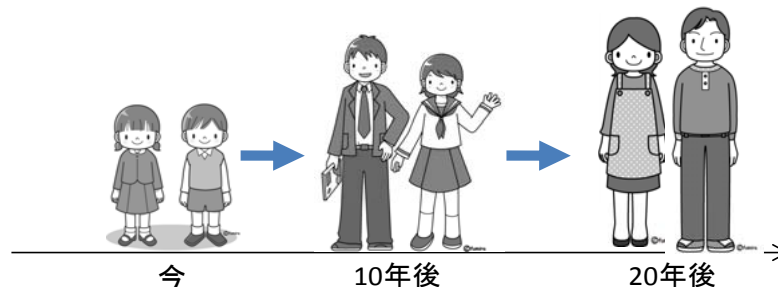
- 児童を交通事故から守る対策
- 将来のドライバー候補の育成
- 交通社会という具体的な場面を通して生きる力を育むための取り組み

## 2. 児童の交通事故対策の必要性



- (歩行者の事故は減少傾向にあるものの)  
歩行者/自転車事故で第一当事者となるのは、  
0~15歳までの子どもが占める割合高い。

# 3. 将来のドライバー候補の育成の重要性



幼少期からの継続的な安全教育が重要

## 4.生きる力とは

知・徳・体のバランスのとれた力

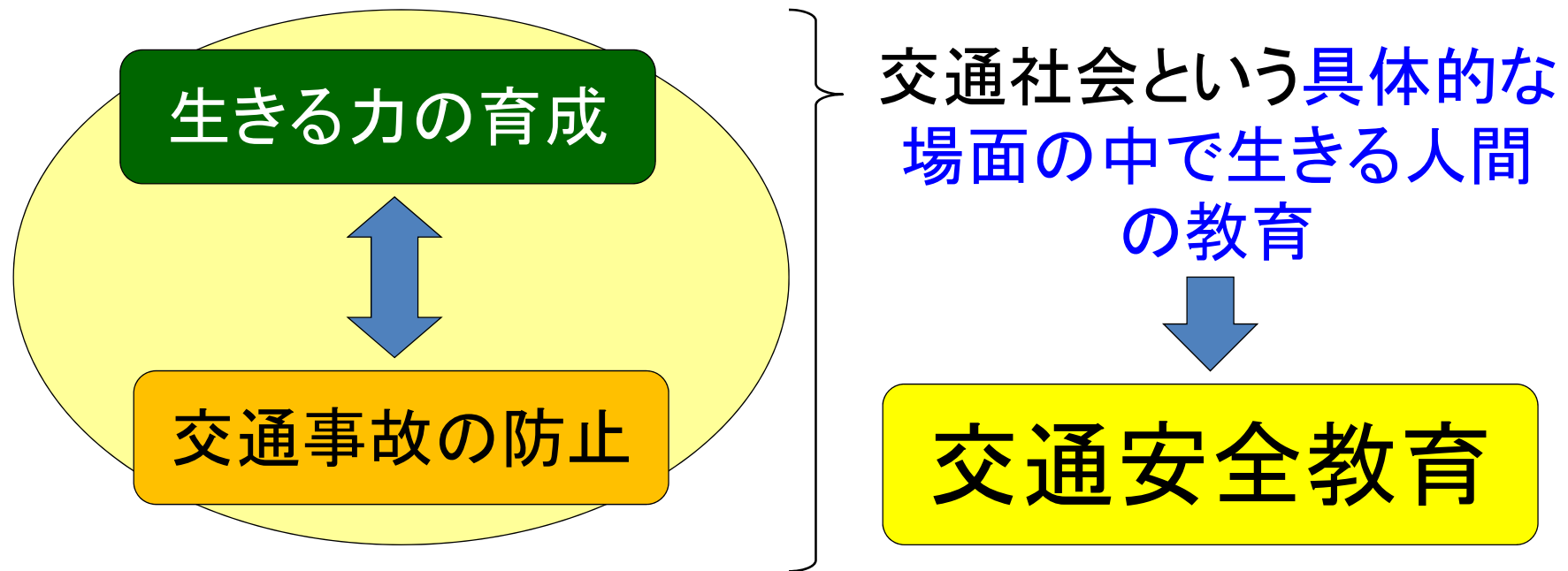
その一つに、

○自らを律しつつ、他人とともに協調し、  
他人を思いやる心や感動する心など  
の豊かな人間性

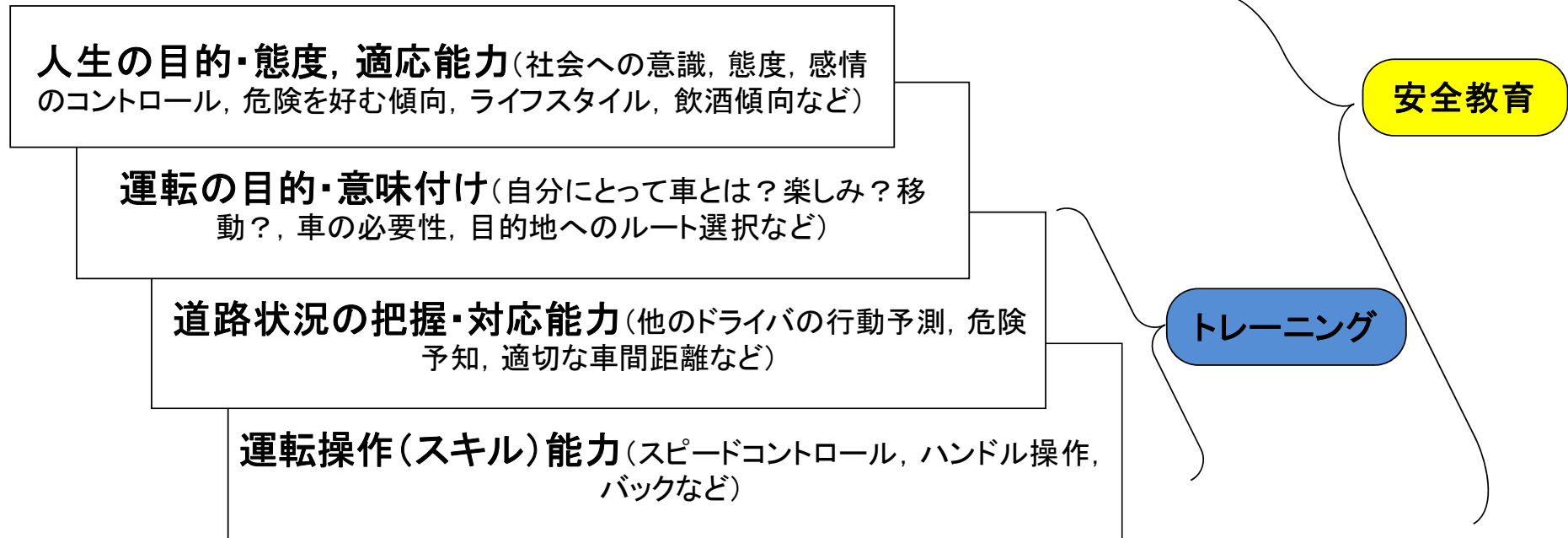
を育てることが大切(文部科学省, 2009).

## 5.交通安全教育と生きる力

自らを律しつつ，他人とともに協調し，他人を思いやる心や感動する心（生きる力）は，交通社会でも必要.



# 人間的な成長



Mikkonen & Keskinen (1980) より  
「ドライバの行動階層モデル」

# 6. JARIの安全教育の考え方

適切な安全態度と社会的スキルの習得のために

受動

行動の強化

例) 止まれの標識で止まる.

能動

思考と実践

例) 交通状況を考えて行動する.

幼稚園	小学校			中学校	高校	大学
	<u>低学年</u>	<u>中学年</u>	<u>高学年</u>			

クリックすると、詳細を表示。

各学齢段階に応じた交通安全教育手法と  
内容の研究と実践